

以下のデータは、英辞郎 Ver. 167 で追加された全データのごく一部です。  
これらのサンプルデータにおいては、漢字の読み仮名が削除されています。

## コンピューター／インターネット

- build a website from scratch : ウェブサイトをゼロから構築する
- built-in ad blocker : ビルトイン・アド・ブロッカー◆ブラウザなどにおいて、ウェブページ上の邪魔な広告を表示しないようにする機能。オプションのアドオンではなく、ソフトウェア本体に初めから組み込まれているもの。
- cable spaghetti : 〈俗〉ケーブル・スパゲティ◆たくさんのケーブルがスパゲティのように絡まり合っている状態
- celebrity with a large following on social media : ソーシャルメディアに多数のフォロワーを持つ有名人
- computer doping : コンピューター・ドーピング、ソフト指し◆コンピューターを利用したチート（カンニング）。例えば、人間対人間のチェスの対局中に、プレイヤーが自分の頭だけで考えず、こっそりチェスのソフトウェアを使って良い指し手を調べ、見掛け上、本来の実力以上を発揮しようとする。「そのソフトウェア自体が不正」という意味ではなく、対局中以外なら、それを使って研究しても構わない。
- rank well in the search engines : 検索エンジンで上位に表示される
- spread rumors about ~ on social networking sites : ~に関するうわさを SNS で広める
- swipe up from the bottom of the screen : 画面の下から上にスワイプする◆【参考】swipe
- zoom in or out of an image : 画像を拡大・縮小する

## 医学

- declare a medical state of emergency : [政府が] 医療非常事態を宣言する、医療非常事態宣言を出す [発出する・発令する]
- downtime {名-3} : ダウンタイム◆美容外科手術後に生じる腫れが引くまでの時間または期間
- highly invasive surgery : 高侵襲性の [侵襲性の高い] 手術
- hospital bed occupancy rate : 〈主に英〉病床使用率◆【略】BOR
- leukemia survivor : 白血病サバイバー [に打ち勝った人・を克服した人]、元白血病患者
- lift outdoor mask mandate : 屋外でのマスク着用義務を解除する◆【対】impose

outdoor mask mandate

■paraphysician {名} : 準医師◆医師ではないが、それに準じる高度な訓練を受けた有資格者。医師不足を補い、プライマリーケアや地域医療を担う。医師と看護師の中間的役割。◆【類】physician assistant

■post-vaccination side effects : ワクチン接種後の副反応

## その他

■10% interest every 10 days : 10日ごとに10%の利息、トイチ（の金利）

■150/150 : 150 奪三振・150 塁打◆一人の野球選手が投手として150 奪三振、打者として150 塁打を達成すること。

■admit fault {1} : [事故・トラブルなどに関して] 非[責任]を認める

■admit fault {2} : 《admit a fault》[自社製品・具体的な一つの問題などについて] 欠陥[欠点]（があること）を認める

■bear no grudge toward : ~に（対して）恨み（がましい気持ち）を抱いていない、~を恨んで（は）いない◆grudgeの代わりに複数形 grudges が使われることも多い。

■block unknown callers : [迷惑電話対策などとして] 知らない発信者をブロックする、知らない番号からの着信を拒否する

■bordering on crime : 《be ~》犯罪すれすれである、ほとんど犯罪である

■chewed out by : 《be ~》〈俗・主に米〉（人）にきつく[さんざん・ガミガミ]叱られる、（人）にこってり絞られる、（人）にかみつかれる[非難される]

■erupt in full force {1} : [火山などが] 大噴火する[を起こす]

■erupt in full force {2} : 〈比喩〉[怒り・不満などが] 大爆発する、[危機・紛争などが] 勃発して荒れ狂う[社会を揺るがす・手が付けられない]

■finally snap and shout : [不満を募らせた人などが] ついにキレて叫ぶ、耐えられなくなり[我慢の限界に達して] 怒鳴る

■for the right price : 適価で、しかるべき金額を払えば

■get flaming mad : 烈火のごとく怒る、怒り狂う、怒りに燃える、カンカンに怒る

■have a good explanation for : [一見不可解なこと・不審な行動など] についてきちんと（理由を）説明できる、[主語（一見不審な行動をした人など）には] ~についてきちんとした理由がある

■humanitarian relief convoy : 《a ~》人道援助物資（の）輸送隊

■ill-begotten cash : 不正に得た[出所の怪しい] 現金、裏金

■intimacy coordinator : インティマシー・コーディネーター◆映画やドラマのセックスシーンやヌードシーンなどの撮影に関して、制作側と役者との間に立って、役者が嫌がる演技を強要されることなく、撮影がスムーズに進むように調整する専門家。

- kick a wasp's nest {1} : スズメバチの巣を蹴飛ばす
- kick a wasp's nest {2} : 〈比喩〉蜂の巣をつつく、わざわざ危険なことをする
- last ray of hope : 最後の一筋 [いちる] の希望、最後の希望のともしび
- latch onto the story : その話に飛び [食い] 付く◆主語にとって都合がいい。例えば「こういう話もある」と指摘することで、自説を補強・正当化できる。
- less of a priority : 《be ~》優先度の低い事柄である、あまり重要で (は) ない
- long list of broken promises : 数々の約束違反
- miracle of miracles : 奇跡中の奇跡、摩訶不思議な奇跡
- mutual finger-pointing : 非難合戦、責任の押し付け合い◆互いに「おまえが悪い」と言い合う
- nagging regret : のしかかる後悔 (の念)、後悔の念にさいなまれること、心残り
- Nowheresville {名} : 〈俗〉何もない田舎町 [片田舎・ど田舎]、辺ぴな場所◆nowheresvilleとも表記される◆【参考】middle of nowhere ; ville
- opportunistic leech : 人の足元を見て [チャンスに便乗して] 荒稼ぎ (を) する者、漁夫の利を貪る人、隙あらば付け込もうとする人
- primary person of interest : 《a ~》[刑事事件の捜査における] 最重要参考人
- put someone under a gag order : (人) に対してコメント [情報の開示] を禁止する、(人) に対してかん口令を敷く◆事件の関係者などに対して、裁判所などが「この件について、第三者に情報を漏らしてはいけない」命令すること。個人のプライバシー・進行中の捜査などに関わる場合。
- rake in major cash : 〈話〉多額の金 [現金] を手に入れる、がっぱり稼ぐ
- robocall {他動} : [~に対して] ロボコール [自動音声の (勧誘) 電話] をかける
- run aground on a reef : [船などが] 暗礁に乗り上げる、座礁する
- scripted sales talk : マニュアルどおりのセールストーク◆決められたせりふを機械的に反復する場合など
- snowballing rumors : 雪だるま式に大きくなるうわさ、うわさがうわさを呼ぶこと
- solid coupling : 《a ~》《機械》ソリッド・カップリング◆軸と軸を一体的に連結するための円筒形の継ぎ手
- speak less and less : だんだん口数が減る [少なくなる]、だんだん無口に [口が重く] なる
- toss the idea around : そのアイデアについて検討する、そのアイデアがうまくいくかどうか (試しに) 考えてみる
- unempathetic {形} : 同情的でない、同情心に欠ける、[同情すべき場面などにおいて] 冷たい◆【類】unfeeling
- worldwide blockbuster : 〈話〉世界的大ヒット作、各国で爆発的ヒットとなる [なった] 作品◆映画・小説など

## 略語

- ABPM {略} : =allergic bronchopulmonary mycosis●《病理》アレルギー性気管支肺真菌症
- CVHC {略} : =chemicals of very high concern●高懸念化学物質
- IP {略} : =idiopathic pruritus●《病理》特発性皮膚掻痒症
- ISE {略} : =ion-selective electrode●《生化学》イオン選択(性)電極
- LRC {略} : =lack of retinal correspondence●《眼科》網膜対応欠如
- OIS {略} : =officer-involved shooting●警察官を巻き込んだ発砲事件
- PAM stain {略} : =periodic acid-methenamine-silver stain●過ヨウ素酸メセナミン銀染色、PAM染色◆糸球体腎炎の病理診断に用いられる染色法
- QD-OLED {略} : =quantum dot organic light-emitting diode●《電子工学》量子ドット有機発光ダイオード

## 例文集「例辞郎」

■A rose is a rose is a rose. : バラはバラはバラ。／(何と呼ぼうが)バラはバラ、バラでしかない。◆「それは額面どおりに、そういうものだ。複雑に考えたり、ややこしい呼び方をしたりする必要はない」という意味の常とう句。◆【語源】20世紀に活躍した米国の作家 Gertrude Stein の詩の一節に基づく。詩の本来の意図・解釈については諸説ある。◆シェークスピアの有名なせりふ(What's in a name? That which we call a rose...)と関連付ける(あるいは混同する)人も多い。◆【参考】A rose by any other name would smell as sweet.

■Be the change you want [wish] to see in the world. : 世界において、あなたが見てみたいと望む変化に(あなた自身が)なりなさい。／世の中が変わってほしければ、自分が率先して変わらなければならない。◆実践主義・ポジティブ思考を表す格言。しばしばガンジーの言葉とされるが、正確な出典は不明。

■I knew this was coming. : やがてこうなることは分かっていました。／やはり[案の定]こうなったか。

■I knew this was going to happen. : やはり[やっぱり]こうなったか。／案の定こうなってしまった。／こうなると思ったよ。◆【直訳】私は、これが起きるだろうということを知っていた。

■I'll be long dead by then. : 私は、その頃にはとっくに死んでますね。◆【場面】何百年も先の話など。自分とは直接関係ないことだ。

■If it bleeds, it leads. : 流血沙汰なら[を報道すれば]、視聴率争いで優位に立てる。／ショッキングな方が受けが良い。◆マスコミなどの扇情的な報道姿勢を表す言葉。「視聴

者は大惨事のニュースを見たがっている。良いニュースより悪いニュースの方が売れる」という考え方。

■Is this really what you want? : これが本当にあなたの望むことなのですか? / これで本当にいい [良かった] の? ◆【場面】相手の意思を確認。それが良い選択なのか、疑問を感じる場合など。

■Money makes the world go round. : この世は金で回って [動いて] いるのです。 / 世の中金さ…。 ◆【場面】貨幣経済における金銭の重要性を強調・誇張。

■Nothing for it. : どうしようもない。 / 選択の余地はない。 / 仕方がない。 / やむを得ない。

■Spare me your nonsense. : あなたのたわ言は、もうたくさんです。 / たわ言は勘弁してくれ。

■Tell no one about this. : これについては、誰にも言わないでください。 / このことは誰にも言うな。

■The world could use more people like you. : あなたのような人がもっと大勢いてくれたら、世の中良くなるんですが…。 / 世の中には、あなたのような親切な人もいますね。 / (あなたに助けていただき) まさに地獄に仏の思いです。 ◆【場面】称賛・感謝などの気持ちを伝える。 ◆【直訳】世界はあなたのような、もっと多くの人々を(もし存在するなら有効に)活用できる ⇒ 現実には、あなたのような人は少ない。

■What choice do I have? : 私にどんな選択肢がありますか [あるというのですか] ? / 選択の余地は [他にどうしようも] ないでしょう?

■What I wouldn't give for this. : 私はこれが、喉から手が出るほど欲しいです。 / これが手に入るのなら、(ほとんど) どんな代償だって支払うのだが…。 ◆【直訳】(仮定の話として、もし手に入るのなら) このために私が与えない物 (はほとんどない)。

■When you're right, you're right. : 確かにそのとおり [それは正論] ですね…。 / 同意せざるを得ません。 / おまえもたまには、いいこと言うな…。 / それもそうだな…。 ◆

【場面】相手の主張全てを支持するつもりはないが、今の指摘は客観的に正しい。

■Wish me luck. : 私のために幸運を祈ってください。 / うまくいくように祈ってください。 / 一丁やってみるか。

■You will regret this. : あなたはこれを後悔するでしょう。 / 後悔するぞ…。 ◆【場面】話者の判断では、相手がしたこと・しようとしていることは良くない。きっと後になって「やめておけば良かった・選択を間違った」と悔やむだろう。

■You'll have to do better than that. : あなたは(今後) もっとうまくやる必要があります。 / そんな見え透いた手には、引っ掛かりませんよ。 / 修行が足りないね。 / まだまだだね。 / そんなんじゃ駄目駄目。

■You'll understand soon enough. : 今 [すぐ] に分かりますよ。